

# 浜松市発達相談支援センター

## 「ルピロ」開設10周年記念講演会

### 発達障害児者支援の深化

### ～QOLの向上をめざして～

#### 【研修会内容】

浜松市発達相談支援センター・ルピロは本年6月、開設10周年を迎えました。開設以来、浜松市における発達障害児者支援の中心としての機能を果たすべく、活動してまいりました。

また、発達障害に関する理解の広がり等を背景に、相談年齢の拡大、相談内容も多岐にわたるなど、相談件数はとどまる兆しが見えません。

これまでの10年を振り返るとともに、これからの10年の展望を見通すことを目的に、記念講演会を開催します。

13:00～ 開会のご挨拶

13:10～14:30 基調講演

「災害時における発達障害の子どもへのケア～東日本大震災では発達障害の子どもはどのような影響を受けたのか～」

**本間 博彰 先生**(児童精神科医、社会医療法人 あさかホスピタル こどもの心  
診療部長、前宮城県子ども総合センター所長)

本間博彰(ほんまひろあき)先生は、1950(昭和25)年静岡県生まれ。静岡県立静岡高等学校を卒業後、弘前大学医学部を経て、1988(昭和63)年より宮城県中央児童相談所医師として児童福祉と児童精神科医療に従事。2001(平成13)年からは、新設された「宮城県子ども総合センター」の専門医として乳幼児などの心のケアに従事。2011年の東日本大震災以降、災害を受けた子どもたちへのケアの最前線に立つ。2016年から現職。

14:50～ パネル討論

「これからの発達障害者支援とルピロの果たす役割」

パネラー：浜松市教育 総合支援センター 高橋 祥二 担当課長

浜松市立中川幼稚園 幼稚園教諭(予定)

アクティブ 浅井 陽子 代表

浜松市発達相談支援センター 内山 敏 所長

司 会：大嶋正浩 医師(メンタルクリニック ダダ)

16:00～ 閉会のご挨拶

日 時：平成30年8月19日(日) **13:00～16:00(受付12:30～)**

場 所：**アクトシティ浜松 コングレスセンター 41会議室**

参加費：無料(メールによる登録が必要)

対 象：一般市民(定員300名)

#### お申込みはメールまたは、ルピロのホームページで

メールには①氏名、②メールアドレス、③所属(あれば)、④専門職種(あれば)を記入してください。申し込みをいただければ、申込確認メールを返信します。

申込先メールアドレス [rupiro@gmail.com](mailto:rupiro@gmail.com)



主催：浜松市